

平成 28 年 4 月 15 日

広島県知事 湯崎 英彦 様
広島市長 松井 一實 様
広島商工会議所会頭 深山 英樹 様

株式会社サンフレッチェ広島
代表取締役会長

久保 允彦

拝啓 春暖の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は当クラブ運営に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、サッカースタジアムの建設議論をめぐっては、皆様方と私との直接の面談の機会を設けていただきたい旨、先日来、私から作業部会宛の何回かの書簡でお伝えしてまいり、その内容は皆様方もご覧いただいていることと拝察いたします。また、3月29日には皆様方共同の「サッカースタジアムの検討に係る三者会談の延期について」というコメントをリリースされ、皆様方が四者会談は是非とも成功させたいとお考えでいらっしゃることも書簡等でお伺いしており、私どものクラブ運営とスタジアム建設にかかる真摯な思いをくみ取っていただけたものと感謝申し上げます。

この間、作業部会からは3月8日付けでご依頼をいただきました、いわゆる「確認事項1」についての回答を複数回にわたって要請されており、私からは「平成28年3月8日付けで貴作業部会から受領した『サッカースタジアム建設案に対する確認について（依頼）』に関する確認のお願い」で記載した通り、私どもが確認事項1にお答えした場合、その回答を今後の議論にどのように活かしていくお考えなのか、そのご存念を書面にてお伺い旨を複数回にわたりお願い申し上げます。

しかるに、4月11日付けで作業部会から頂戴した書簡にて、私どもからのお願いに対するご回答を頂戴いたしましたので、私が皆様方と直接お目にかかったうえで、確認事項1に対する回答をご説明に上がりたいと存じます。

私は、サッカースタジアム建設推進にあたって各関係者の声を代弁すべき責任ある立場にいらっしゃる皆様方と株式会社サンフレッチェ広島の経営を預か

っております私とが会談を持ち、広島におけるサッカースタジアム建設の是非とその中身について、腹藏なく忌憚のない意見を交わし合い、今後の方向性の道筋を見出すことこそが最善ではないかと考えておりますが、もとより、確認事項1に対する回答を拒むつもりは毛頭ございませんでした。

そこで、今回皆様方に直接にご説明に上がる機会を頂戴できましたならば、私から確認事項1についての回答の具体的な説明を申し上げるだけではなく、皆様方各々がサッカースタジアム建設について、いかなるお考えをお持ちでいらっしゃるのかについて拝聴したいと存じます。

その中で、私どもサンフレッチェ広島のクラブ運営の収支に関するお考え、港湾関係者をご主張されている広島みなと公園に存在するという土壤汚染問題の真偽、旧広島市民球場跡地をこれからの広島の都市づくりにどうご活用されるお考えなのか、なぜ旧広島市民球場の跡地にサッカースタジアムを建設すべきではないとお考えなのかなどについても、具体的なお考えを賜りながら、建設的な議論とさせていただければと存じます。その模様は、関係者の皆様への説明責任を果たす観点からも、その内容をすべて報道機関に公開すべきとも考えております。

新年度をお迎えになられ大変お忙しいところと拝察いたしますが、私どもにお寄せいただく全国のサポーターや関係者からのご意見やご要望も日に日に高まってきており、サッカースタジアム問題に関する世の中の関心が一層強まっているとの実感もございます。ぜひとも、私が皆様方に直接にご説明に上がる機会を早急に設けていただきますよう、ご検討賜りたくお願い申し上げます。

敬具